

様式第 3 号 (表) (第 34 条関係)

年 月 日

稲城消防署長 殿

住 所

申告者

職業 (職)

電話

氏 名

車両・船舶・航空機り災申告書

1	り 災 年 月 日	年 月 日	り 災 物 件 と 申 告 者 と の 関 係	所有者・管理者・占有者
	り 災 場 所	市	丁目	番地
2 車 両	運 転 者 氏 名		購 入 年 月	
	用 途 別		購 入 金 額	
	車 両 番 号		年 式	
	焼けた箇所	消火のため濡れた, 汚れた, 壊れた箇所		その他
3 船 舶 ・ 航 空 機	船 長 ・ 機 長 名		船 名 ・ 機 名	
	用 途 ・ 機 種		就 航 年 月	
	トン数・最大離陸重量		購 入 金 額	
	焼けた箇所	消火のため濡れた, 汚れた, 壊れた箇所		その他
4 積 載 物	焼けた物	消火のため濡れた, 汚れた, 壊れた箇所		その他
	り 災 物 件 と の 関 係	所有者・管理者氏名		
5	火災保険契約会社名		保 険 金 額	

車両・船舶・航空機り災申告書記載要領

（1の欄）

- 1 り災物件と申告者との関係は、あてはまるものを○で囲んでください。
- 2 り災した場所の欄は、車両などが火災になった場所を記入してください。

（2の欄）

- 1 用途別の欄には、貨物、貨物乗用、タクシー、乗合バス、機関車、客車などの別を記入してください。
- 2 車両番号の欄は、陸運局に届け出ている車両登録番号などを記入してください。

（3の欄）

用途・機種の欄には、客船、貨物船、旅客機、観測機、練習機などの別を記入してください。

（4の欄）

積載物の欄には、損害を受けた物の品名と時価に見積った損害額を記入し、また、申告者と積載物の所有者等が異なる場合にのみ氏名を記入してください。

（5の欄）

車両等の火災保険に加入している場合のみ記入してください。

備考

- 1 この申告書は、消防法第34条に基づいて提出を求めるものです。
- 2 この申告書は、り災した日から起算して7日以内に提出してください。
- 3 火災によるり災証明を発行する場合、この申告書が出ていると早く発行することができます。